

2015年7月8日
日本ビューホテル株式会社
ユーシーカード株式会社

ビューホテルグループ、
多通貨決済サービス（DCC）及び銀聯カードの取扱いを開始

日本ビューホテル株式会社（以下、ビューホテルグループ、本社：東京都台東区、代表取締役社長 石井一男）は、みずほフィナンシャルグループの一員であるユーシーカード株式会社（以下、UC カード、本社：東京都港区、代表取締役社長 樋口一成）と提携し、中国の銀行カード組織である中国銀聯が発行する「銀聯カード」及び、海外のカードホルダーがカード決済時に決済通貨を選択できる「多通貨決済サービス (DCC: Dynamic Currency Conversion)」の取扱いを開始いたしました。

2014年の訪日外国人数は1,340万人を超え、過去最多となりました。ビューホテルグループにおいても、訪日外国人の利用者数は上昇基調を継続しています。2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催決定、2014年のビザ大幅緩和や消費税免税制度拡充の影響から、今後も訪日外国人は増加すると見込まれており、それと比例して海外発行のカード決済も増加していくものと予想されます。

こうした背景から、ビューホテルグループでは従来のクレジットカード決済サービスに加え、銀聯カード及びDCC決済を直営4店舗へ導入し、訪日外国人向けサービスの拡充を図ることといたしました。

UCカードは2009年に日本で初めてDCCビジネスに参入し、国内DCCアクワイアラとして最大の30種類の通貨対応、また、日本で唯一となる2ndプロセッサの採用により、複数種類の端末を供給できる体制を整え、業界を先導しています。さらに、機能面にとどまらず、外国人向けのサービスガイドを複数言語で作成する等、加盟店さまにとっても、カードホルダーの方にとっても、DCCが使いやすいものになるよう、長年のノウハウを活かし、常にサービス向上に取り組んでおります。

また、銀聯と提携の上、銀聯カードの加盟店開拓を行い、現在5万加盟店まで拡大しております。今後も様々な業種での加盟店開拓を強化し、銀聯カードが使用できる環境の整備とお客さまの利便性向上に貢献してまいります。

■導入済店舗

多通貨決済サービス (DCC)

- | |
|-----------------------|
| (1) 浅草ビューホテル フロント |
| (2) 高崎ビューホテル フロント |
| (3) 伊良湖ビューホテル フロント・売店 |

銀聯カード

- | |
|--|
| (1) 浅草ビューホテル フロント・
レストラン (カフェ・ド・カピタン、歌留多、武蔵、唐紅花&蒔絵) |
| (2) 成田ビューホテル フロント・
レストラン (パティオ、唐紅花、歌留多、ザ・トップ) |
| (3) 高崎ビューホテル フロント |
| (4) 伊良湖ビューホテル フロント・売店 |

■DCC とは

DCC とは、海外でカード決済を行った際、「現地通貨」と「カードホルダーの自国通貨」の内、どちらで決済するかを選択できるサービスです。通常、訪日外国人のお客さまが自国（海外）で発行されたクレジットカードを日本で利用する場合、ご利用時には円建てで決済します。その後、カード発行会社が定める為替レートにて自国通貨へ換算された決済額がお客さまに通知され、利用額を支払います。DCC に対応したクレジットカード決済端末を使用すると、カードご利用時に自国通貨での支払金額がお客さまへ提示され、通常通りの円建て決済と、自国通貨決済の内、どちらかを選択できるようになります。自国通貨決済を選んだ場合、為替レートの変動リスクを心配することなく、安心して決済いただけることが特徴です。

《ビューホテルグループにおける、DCC の取扱い通貨》 (30ヶ国、29通貨)

アメリカ合衆国 (ドル)	欧州連合 (ユーロ)	オーストラリア (ドル)
香港 (ドル)	シンガポール (ドル)	台湾 (ドル)
タイ (バーツ)	韓国 (ドル)	中国 (人民元)
マカオ (パタカ)	マレーシア (リンギット)	フィリピン (ペソ)
インドネシア (ルピア)	ベトナム (ドン)	インド (ルピー)
スリランカ (ルピー)	カナダ (ドル)	アルゼンチン (ペソ)
ブラジル (リアル)	イギリス (ポンド)	スイス (フラン)
デンマーク (クローネ)	ノルウェー (クローネ)	スウェーデン (クローナ)
ロシア (ルーブル)	サウジアラビア (リヤル)	UAE (ディルハム)
カタール (リヤル)	ニュージーランド (ドル)	南アフリカ共和国 (ランド)

※韓国はドル建てで為替対応を行います

■銀聯とは

2002年に中国人民銀行が中心となって設立された、中国での銀行間決済ネットワークを運営する国際ブランドです。銀聯カードは全世界で50億枚発行されており、その取扱高も780兆円と、国際ブランドの中での位置づけは急速に高まっております。アジアではVisa・MasterCardを超える会員数・売上高に成長しています。日本国内における中国銀聯の売上も大幅に増加しており、2015年2月の春節（中国の旧正月）には多くの中国人観光客が日本で銀聯カードを使用し、その利用額は600億円に達しました。